

## 第2学年 特別の教科道徳学習指導略案

教科等	特別の教科道徳	主題名 [内容項目]	みんながささえるいのち [D(17)生命の尊さ]	教材名	空色の自転車
学級	2年5組	授業者		教室等	2階 2年5組教室

### <本時の指導>

<b>&lt;本時のねらい&gt;</b> 命はどうして大切なのかを考えさせ、かけがえのない命を大切にしようとする心情を育てる。		
	<p>主な学習活動【4つの視点】 主な発問:T 予想される児童の反応:C</p> <p>○研究主題にせまる6つの手立て □…指導上の留意点 ☆…評価 ※UD</p>	
<p><b>導入</b></p> <p>1. 事前にとったアンケートを振り返る。【発見】 T: 生活の中で自分が嬉しいと感じる時や幸せを感じる時はどんな時ですか? C: 友達と一緒に遊んでいる時。 C: サッカーの試合で活躍できた時。 C: おいしいご飯を食べている時。</p>	<p>○話題設定の工夫 アンケート結果を共有することで、自分事として捉えやすくする。正直に言えなかった場面について想起させ、登場人物に共感しやすくする。 ※焦点化</p>	
	<p>2. 教材「空色の自転車」を読み、いいねと感じたことや気になったことについて共有する。【決定】 T: このお話で「いいな」と思ったところや「どうして」・「気になるな」と思ったところはどこでしたか。 C: かんたが目を覚ますように家族がお世話しているいいね。 C: 目が覚めて助かってよかった。 C: かんたは毎日訓練を続けていてえらい。 C: どうしてかんたはまた自転車に乗りたいと言ったのか。</p>	<p>□読み聞かせを聞く際には、登場人物の言動に着目して聞くよう促す※焦点化</p> <p>□児童の発言を分類して板書する。</p>
	<p>3. 「かんた」の思いについて自分の考えを書く。【表現】 T: ワークシートに自分の考えを書きましょう。</p>	<p>□机を大きく動かさず椅子の向きだけを変えることで、より近い距離で相手の意見を聞けるようにする。</p>
	<p>4. 「かんた」の思いについて考えたことをグループや全体で話し合う。【対話】 T: 「かんた」が訓練を続けることができたのはどうしてでしょうか。 C: また前みたいに自転車に乗れるようになりたいから。 C: 家族がたくさん応援してくれたから。 C: またみんなに元気な姿を見せたいから。</p>	<p>○話し合いの話し型の提示 話し合いの話し型カードを提示し、話し合いの際に意識できるようにする。また、話し合いリーダーカードを用いて、児童がすすんで話し合いが進められるように促す。※視覚化</p>
	<p>5. 話し合ったことから命の大切さについてまとめる。</p>	<p>○交流の目的と視点の明確化 「自分の考えを深める」という目的と、「自分と似たような意見があったか、また違う意見だったか」「他の人にも聞いてほしい良い意見があったか」という視点を提示する。※共有化</p> <p>□中心発問で出た児童の意見から命の大切さについて提示する。</p>

<p>6. 本時の授業を通して、命の大切さや生きることについて感じたことや生かしたいことについて振り返りを書き、話し合う。【対話】 T: 今日の振り返りを隣の人と交流しましょう。</p> <p>7. 全体で共有する。【対話】 T: 自分の考えを教えてください。 C: 命は自分だけのものではない。 C: 元気でいられるのはすごいこと。 C: 家族にありがとうの気持ちを伝えたい。</p>	<p>□振り返りが苦手な児童には隣の人の意見や他の児童の意見から良いものを選びさせる。 ☆授業を通して命の大切さに気づき、自分の生活の中でどのように生かしているか自分の考えをもっている。(発言・ワークシート)</p>
---	--

### 【板書計画】

<p>○みんながしあわせをかんじるとき おいしいごはんを食べているとき 合で活やくしたとき ゲームをしているとき 友だちとあそんでいるとき</p> <p>○いいね、どうして、気になる 家ぞくがあきらめないでお世話しているいいね 目がさめてよかった みんなが、かんたのことをはげましているいいね かんたがくんれんをがんばっているいいね どうしてかんたはまた自転車にのりたのりかな</p>	<p>第3回「空色のじてんしゃ」 ◎かんたがくんれんをつづけることができたのはどうしてだろうか またじてんしゃにのれるようになりたい早く元気な自分になりたい 家ぞく、おいしゃさん、クラスみんな サポート、手じゅつ、音楽、歌、千羽づる 家ぞくやみんなのためにも元気になりたい。早くクラスみんなに会いたい じぶんをなおしてくれたおいしゃさんにかんしゃしたい</p>	<p>◇ふりかえり ・じぶんのいのちを大切にしたい ・いのちはじぶんだけのものではない ・元気でいられるのはすてきなことだと分かった。</p>

### 【研究主題にせまる6つの手立てとの関連】

(1) 「自分の考えを言葉で表現する」ための手立て

#### 話題設定の工夫

事前に生活の中で嬉しいと感じる場面についてのアンケートを行い、児童自身が日常生活の中で嬉しいと感じる場面や幸せを感じる場面を想起させ、導入場面で振り返る。出てきた意見を全体で共有することで共感を促すとともに、日常にある当たり前の幸福感について自分事として考えられるようにする。

#### 話し合いの話し型の提示

考えた意見について交流する際は、「友達の考えを受け止めよう」、「友達の考えの良いところを伝えよう」、「くわしく知りたいことを質問しよう」の話し型を提示し、前向きな交流活動を促すとともに、話し合いリーダーカードを用いて円滑な話し合いが行えるようにする。

(2) 「学び合う」ための手立て

#### 交流の目的と視点の明確化

主発問に対しての自分の考えを友達と交流する際には「自分の考えを深める」という目的と、「自分と似たような意見があったか、また違う意見だったか」「他の人にも聞いてほしい良い意見があったか」という視点を提示する。